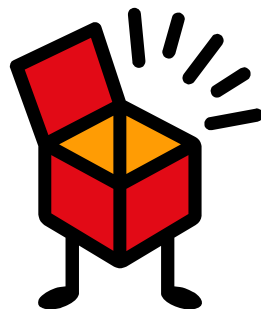



日立金属株式会社  
2015年度中期経営計画



Materials Mag!c

2013年8月7日

 日立金属株式会社  
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : [hmir@hitachi-metals.co.jp](mailto:hmir@hitachi-metals.co.jp)

## 15中期の位置づけ

当社は、材料開発をベースとし、製品の「質」にこだわり、特長ある製品を市場に供給することで社会に貢献してきた。

世界規模での市場構造は、不透明感を増しながら激変を続けており持続的成長を実現するためには、市場ニーズの変化に合わせてながら「質」にこだわった事業展開、経営体制の改革を加速・強化しなければならない。

## 15中期の基本スタンス

これまで培ってきた素材開発力、技術提案力を、今一度市場が求めるそれらと対比・検証し、No.1製品のグローバル生産・供給体制を再構築する。

従来の延長線上での発想は排除し、強固な組織・機能を構築、持続的に成長する企業としての基盤を確立する。

市場およびお客様にとって必要不可欠な存在＝「日立金属」となる。

## 強固な経営基盤確立と成長戦略の実行で持続的成長への基盤を確立

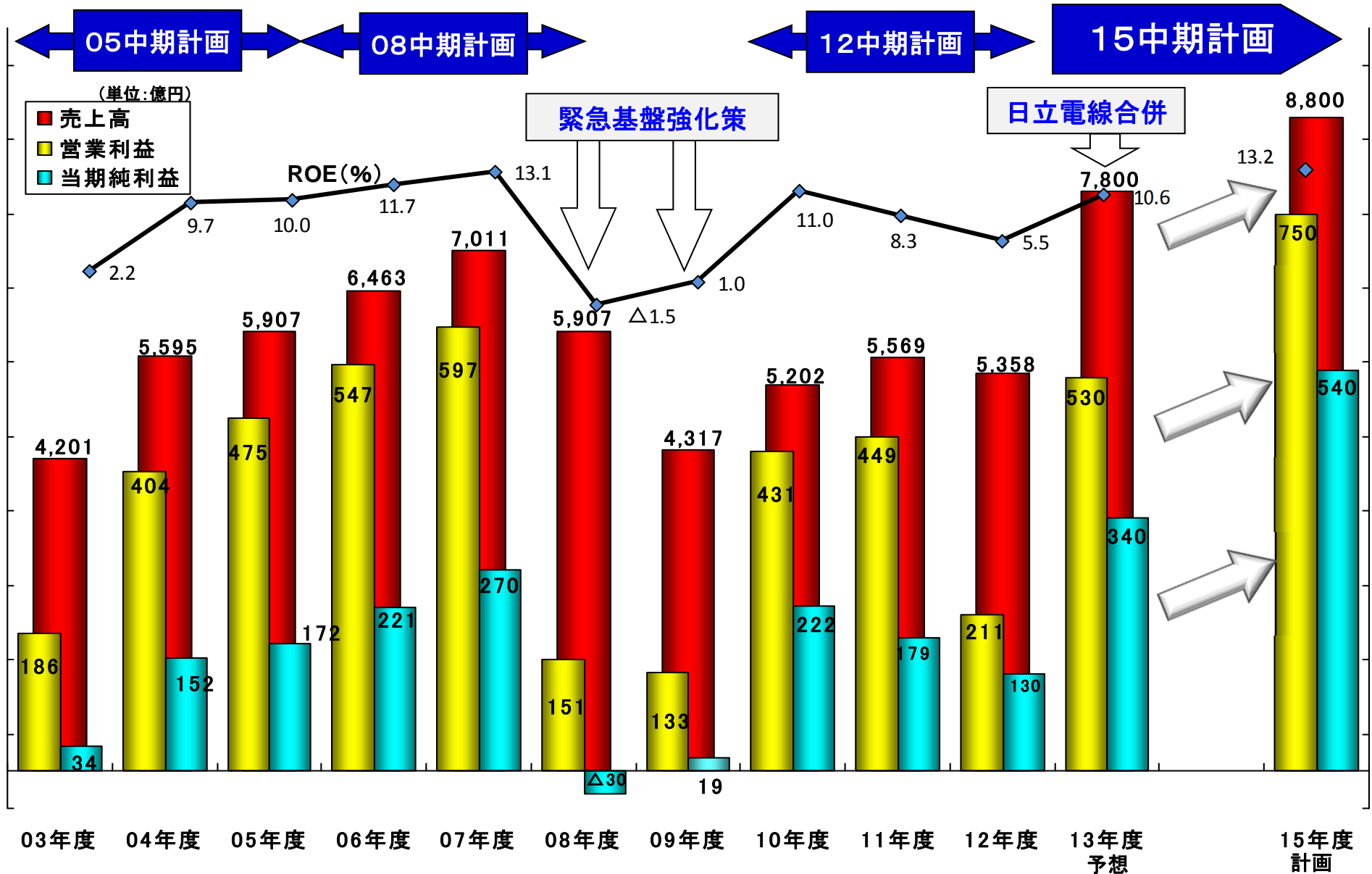
### 全体基本方針

- グローバル成長戦略の強化・加速
- 新製品創出・新技術開発力の強化
- 国内事業の精選、固定費削減
- 経営統合効果の早期実現

### 15中期における重点項目

1. 国内生産品の精選と海外生産比率の拡大
2. 新製品比率の拡大、事業領域の拡大
3. 国内市場縮小へ対応したコスト削減
4. 生産技術力向上とグローバル調達を両輪とした変動コストの低減
5. キャッシュフローの改善

# 業績推移



# 2015年度中期経営計画 主要経営数値

(億円)

	2012年度実績 日立金属・日立電線 単純合算ベース	2013年度予想 (13.7.26発表)	2013年度予想 日立電線 13/1Q業績合算後	2015年度 計画 (想定為替レート 1\$=90円)
売上高	8,977	7,800	8,683	8,800
営業利益	254	530	562	750
経常利益	286	510	540	740
(特別損益)	△193	△50	△27	△60
税前利益	93	460	513	680
当期純利益	38	340	383	540
総資産	7,999		8,200	8,700
株主資本	3,257		3,300	4,100
有利子負債	2,027		1,900	1,500
D/Eレシオ(倍)	0.62		0.58	0.37
ROE	1.2%		11.6%	13.2%
新製品売上高比率	23%		27%	35%
海外売上高比率	37%		41%	45%
海外生産比率	22%		26%	33%
人員(人)	31,952		30,000	31,000



# 2015年度中期経営計画 全社横断アクションプラン

全体  
基本方針

- グローバル成長戦略の強化・加速
- 国内事業の精選、固定費削減

- 新製品創出・新技術開発力の強化
- 経営統合効果の早期実現

## 2015年度中期経営計画

グローバル  
成長戦略の  
強化・加速

営業体制の検討 **海外売上高比率 45%以上**

- ・国内販売体制、商流の再編成による販売コスト削減
- ・グローバル成長戦略を加速する販売体制の構築

グローバル推進 **海外生産比率 30%以上**

- ・グローバル全体戦略策定(専門部署を設置、半年毎にチェック)
- ・利益を伴う海外展開の加速、M&Aを含む事業領域の拡大

グローバル調達 **海外調達比率の向上**

- 多極・最適集中購買を実施、コスト競争力を強化

人材育成・人材開発

- ・海外現地化の加速
- ・グローバル人材の育成・育成強化

新製品比率の拡大  
事業領域の拡大

新製品の継続的創出による持続的成長の堅持  
基幹新製品のグローバル競争力強化

次世代の柱となる新製品・新事業の創出

キャッシュフローの  
改善・創出

モノづくり改革 **変動費削減・生産性向上**

- ・基幹技術の革新によるグローバル競争力の強化
- ・原価低減の確実な効果刈り取り

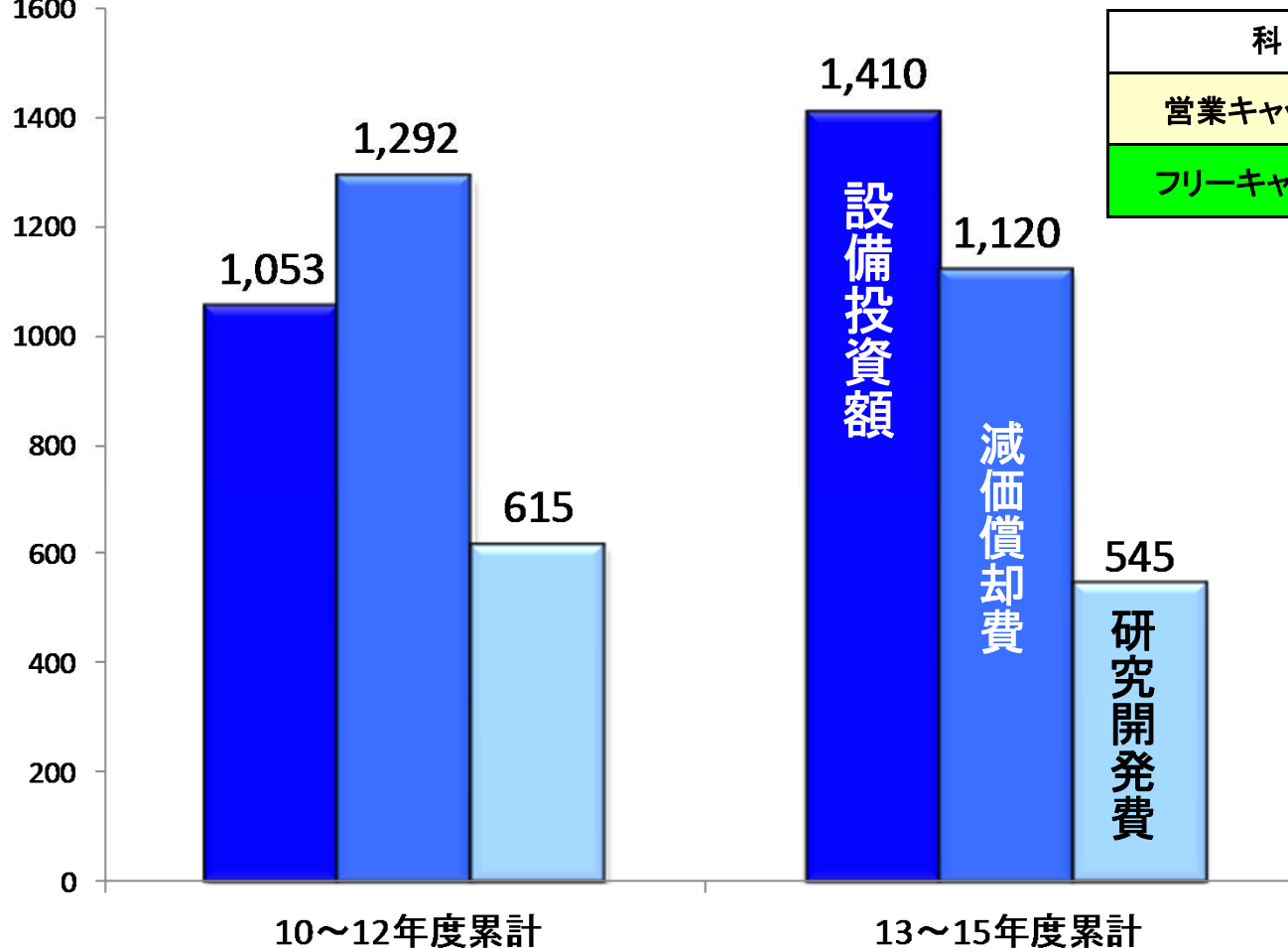
固定費削減

- 恒久的施策による固定費絶対額の削減

持続的成長への基盤確立

## グローバル競争力強化、新製品・事業領域拡大に向けた投資を実施

(億円)



科目	13~15年度累計
営業キャッシュ・フロー	2,780億円
フリーキャッシュ・フロー	1,060億円

### 投資方針

- ①グローバル展開の加速
- ②成長分野への重点投資の方針のもと、高級金属製品セグメントを中心に積極的な投資を実施

10~12年度累計  
日立金属・日立電線単純合算ベース

13~15年度累計

# セグメント別売上高・営業利益

		2012年度実績 日立金属・日立電線 単純合算ベース	2013年度予想 (13.7.26発表)	2013年度予想 日立電線 13/1Q業績合算後	2015年度計画 (想定為替レート 1\$=90円)
高級金属製品	売上高	2,229	2,435	2,435	2,620
	営業利益	177	265	265	315
	営業利益率	7.9%	10.9%	10.9%	12.0%
磁性材料	売上高	1,421	1,300	1,300	1,390
	営業利益	△9	120	120	160
	営業利益率	△0.6%	9.2%	9.2%	11.5%
高級機能部品	売上高	1,720	1,870	1,870	2,020
	営業利益	102	145	145	185
	営業利益率	5.9%	7.8%	7.8%	9.2%
電線材料	売上高	3,620	2,220	3,103	3,050
	営業利益	43	85	117	155
	営業利益率	1.2%	3.8%	3.8%	5.1%
その他・調整額	売上高	△12	△25	△25	△280
	営業利益	△59	△85	△85	△65
合計	売上高	8,978	7,800	8,683	8,800
	営業利益	254	530	562	750
	営業利益率	2.8%	6.8%	6.5%	8.5%



# セグメント別概要： 高級金属製品セグメント

## 基本方針

- 現状維持型から開拓型へ  
(新市場、新技術、新製品)
- マーケットの価格に適合したモノづくり
- 流通機能の見直し・再編による  
コスト競争力強化

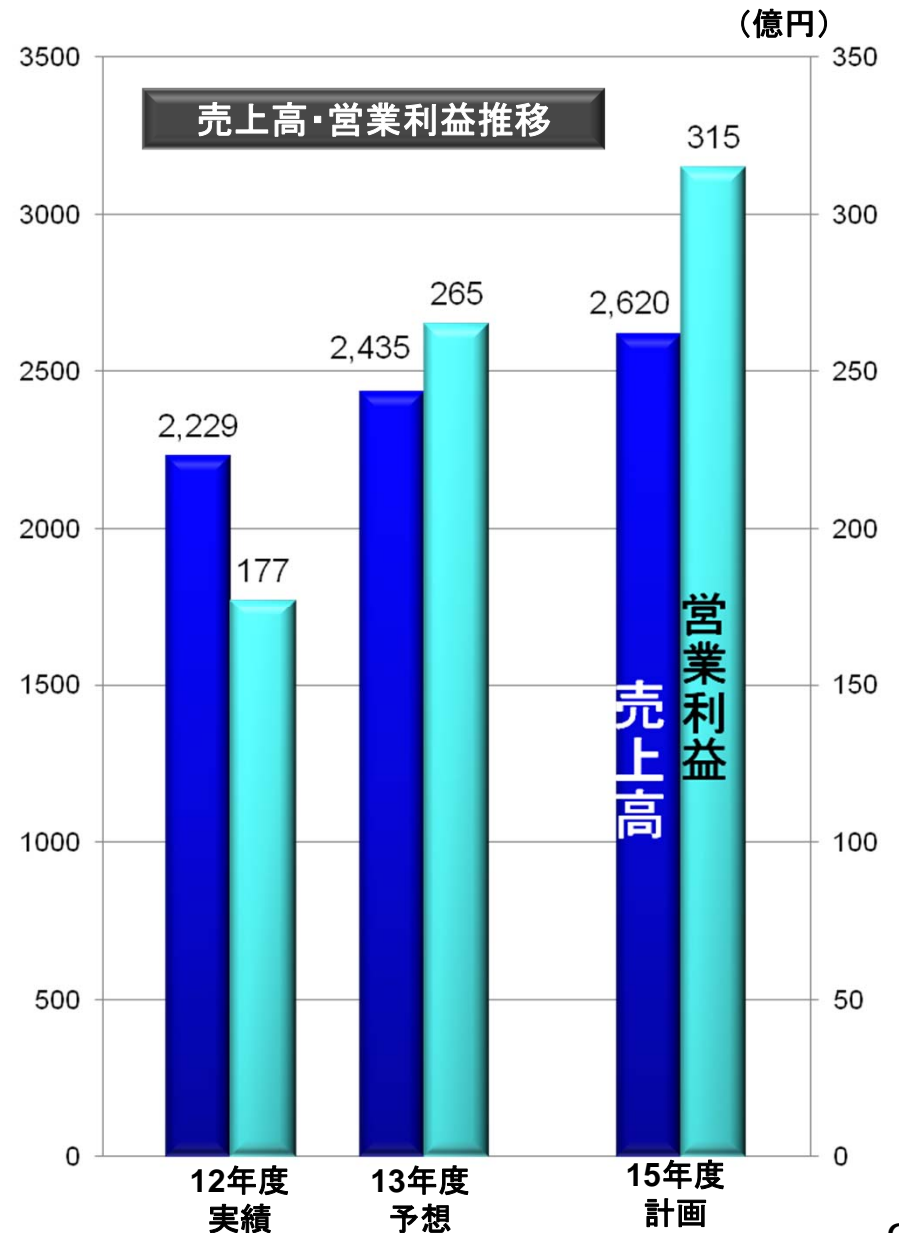


特殊鋼： 特殊鋼事業の再生・新成長戦略の実行

ロール： 国内製造拠点は開発型マザー工場  
海外製造拠点は収益拡大へ

軟磁性材料： 環境適合度No.1製品の拡販で  
グローバル市場で持続的成長を実現

切削工具： グローバル市場においてニッチトップ  
戦略を展開(金型・難削加工)



# セグメント別概要： 磁性材料セグメント

## 基本方針

- 競合優位性の確保
- グローバル展開の加速
- 最短最速のサプライチェーンの確立



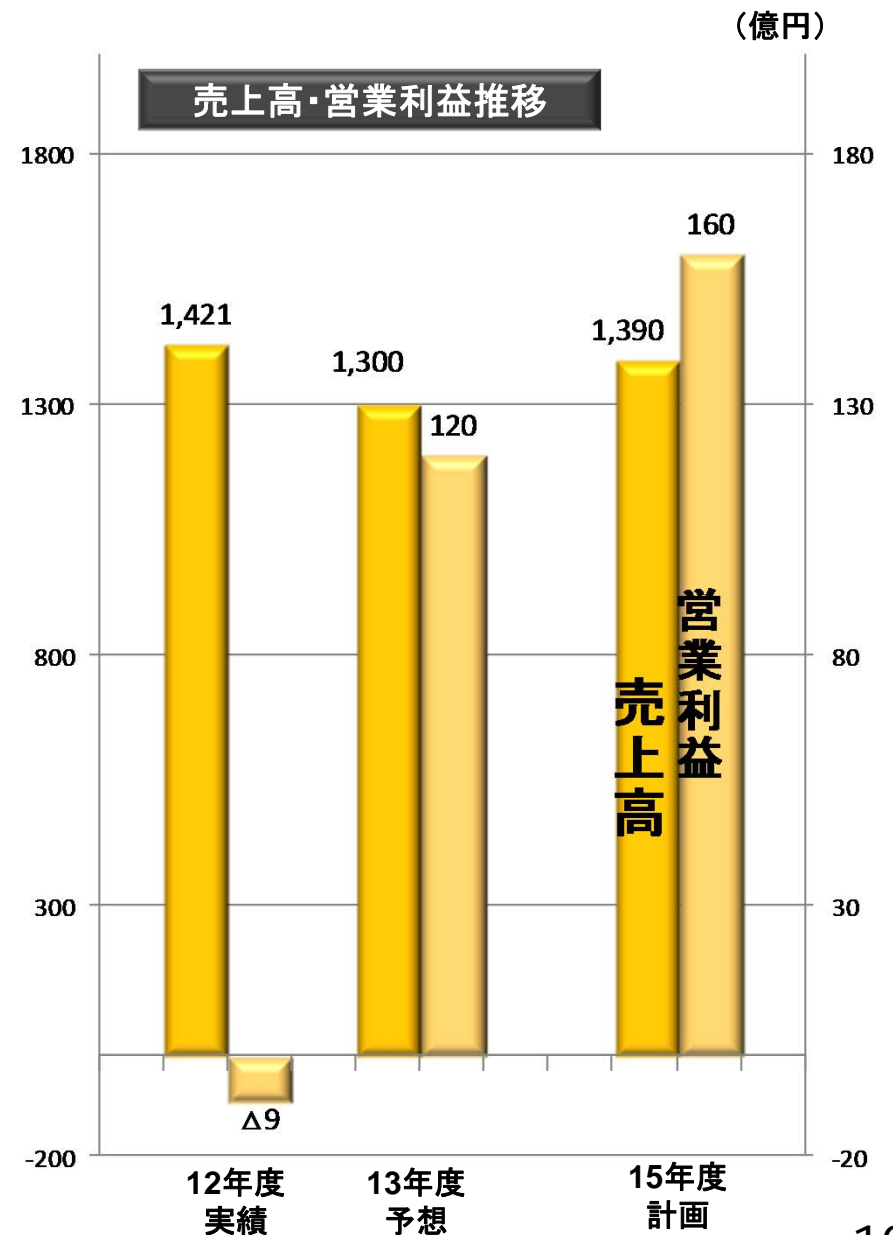
- 指向分野・製品・地域でシェアNo.1
- 海外売上高比率60%、海外生産比率50%
- 強固な経営基盤の確立

(マグネット)

新技術による売上拡大、現地生産比率の拡大

(軟質磁性材料・応用品)

材料・プロセス・設計の3つの技術を組み合わせた  
コア技術・製品の創出



# セグメント別概要： 高級機能部品セグメント

## 基本方針

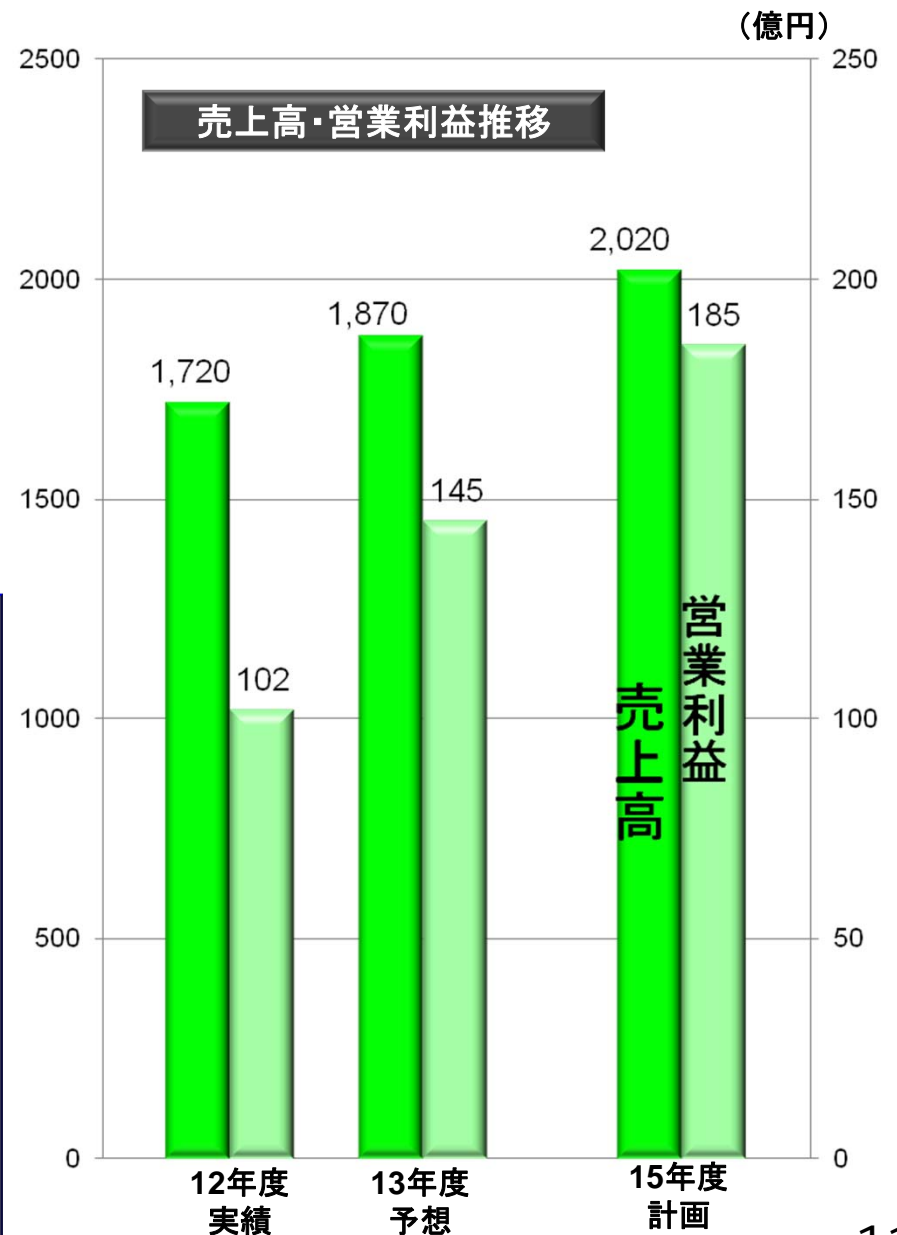
- 海外市場への展開加速による成長
- 国内生産拠点は固定費削減と究極のモノづくりに挑戦
- 経営資源の有効活用による経営基盤の強化と効率向上



自動車用鋳物：  
成長市場での事業化を推進、海外生産比率50%へ

配管機器：  
構造改革の完遂、グローバル市場での成長を実現

建築部材：  
グローバル拡販体制の確立  
高付加価値かつ低コスト商品の開発・販売推進



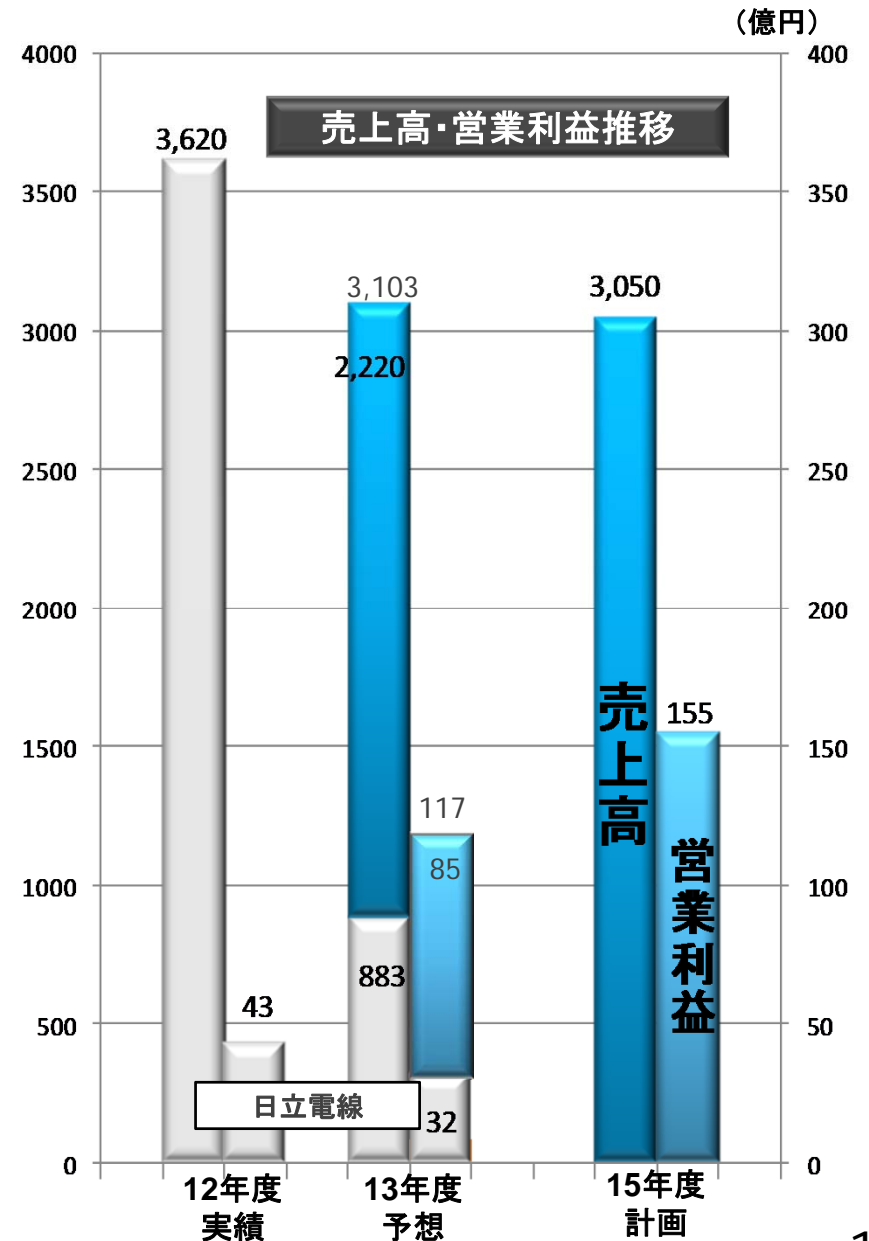
# セグメント別概要：電線材料セグメント

## 基本方針

- 収益性向上に向けた事業構造改革  
新たなビジネスモデルの構築
- 経営統合効果の早期実現、経営基盤の強化

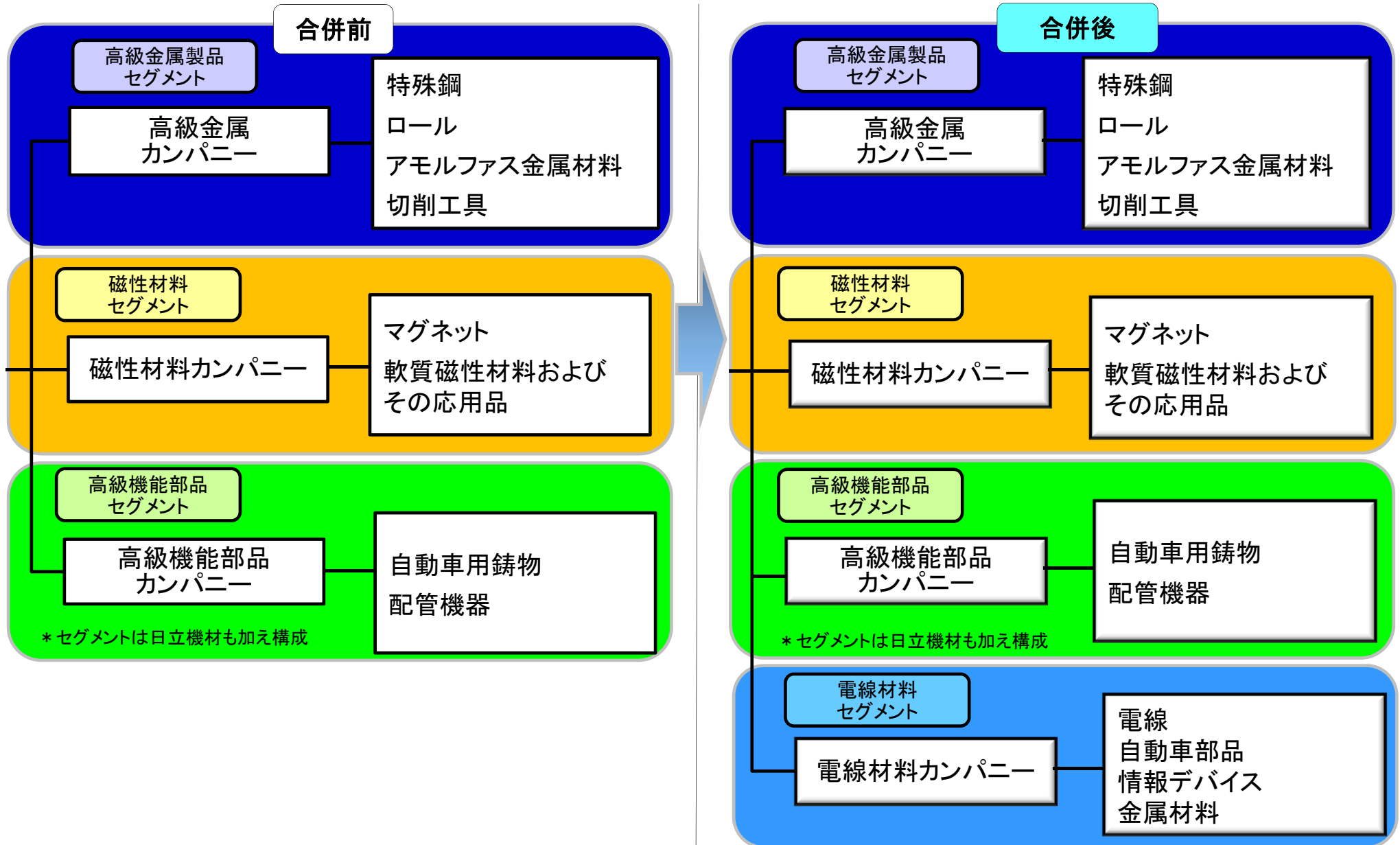


- 国内外拠点統廃合、業務集約、システム共通化による調達・販売・管理業務の効率化
- 収益性向上に向けた製品ポートフォリオの組み換え
- 高機能製品の開発による事業競争力強化
- グローバル適地生産によるコスト競争力強化



# 参考資料

# (参考) 日立金属 事業構造 (13年7月～)

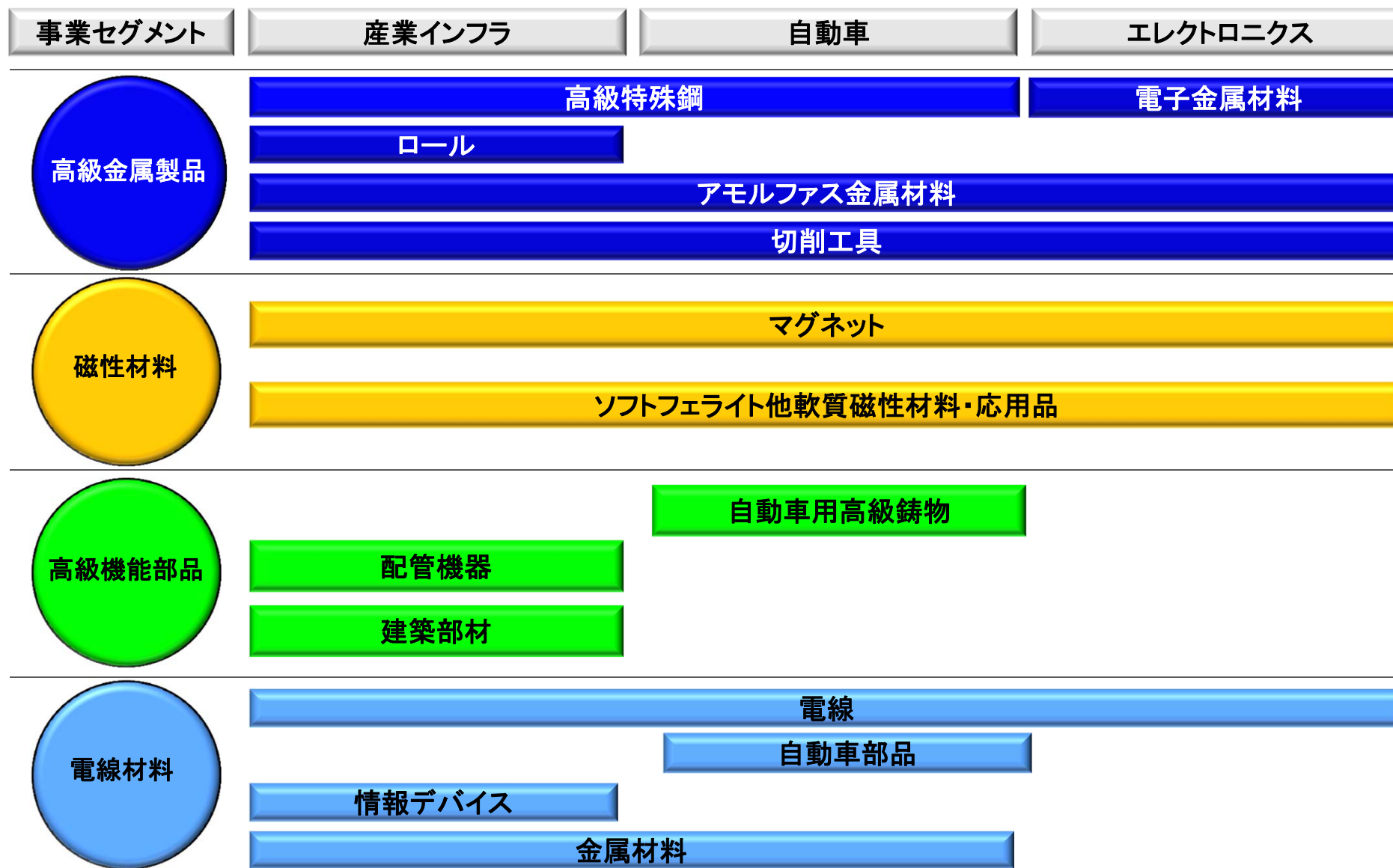


# (参考) 日立金属 セグメント別事業内容 (13年7月~)

事業セグメント	主要製品	
高級金属製品	高級金属カンパニー	特殊鋼 高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]:金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料、 剃刃材および刃物材
		ロール 各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
		軟磁性材料 アモルファス金属材料[Metglas®]
	日立ツール株式会社	切削工具
磁性材料	磁性材料カンパニー	マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟磁性材料(ソフトフェライト・ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその 応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用部品、 IT機器用材料・部品、医療機器用材料・部品、
高級機能部品	高級機能部品カンパニー	自動車用鋳物 自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品)
		配管機器 設備配管機器(♂®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク)
	日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、屋上システム)、チェン(マテハンシステム)
電線材料	電線材料カンパニー	電線(電力・産業用電線・ケーブル、機器用電線・ケーブルおよび配線部品、光・通信ケーブル、巻線、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース) 情報デバイス(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム、化合物半導体)、 金属材料(黄銅製品他)

# (参考)マーケット分野別事業構造

## 材料開発をベースに幅広い産業分野で「質」を提供する素材メーカー





本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動